

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	美術Ⅱ	2	選択	文系	2

教科書（発行所）	高校生の美術 2（日本文教出版）
教科書以外の教材	スケッチブック等

目 標		美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	基礎描写（木炭）	基礎描写を応用して、石膏を描く。それにより、遠近法や光の描き方によって変化する物体の見え方の違いを感じ取り、対象をよく見つめ表現する力を育てる。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	提出物点検 中間作品 期末作品
	2 学期	絵画（油絵）	身の周りにあるものを丁寧に観察し、写實的に描写する。 形や色、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	提出物点検 中間作品 期末作品
	3 学期	素材を変えて まとめ	これまでに学習したことをもとに、素材を変えて製作をする。表現の素材・方法が異なる題材を通して、それぞれの違いや共面性を学ぶ。 主題をもとに、形、構成などの構想を練る。形、構成などを工夫して制作する。 完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。 これまでの学習活動を振り返り、美的な能力の向上を感じ取ったり、今後の美術との関わりをイメージしたりする。	提出物点検 期末作品
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 提出物、出欠状況（遅刻・欠席等）で評価します。 2 実技作品は完成まで責任をもって取り組もう。自分以外、その作品を完成させることは出来ません。 3 作品の制作過程、鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み、自分なりの工夫をしたかが大切です。 4 移動教室のため、遅刻をしないように時間に余裕を持って行動すること。 5 美術の基礎的内容を学び、その魅力を理解し、生涯にわたって美術を愛好することが出来るようになります。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、枵や点で構成された作品を、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、色や質感などの表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。	身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考查は行わず、次の4点を元にして総合的に評価します。 1 美術への関心・意欲・態度（美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。） 2 発想や構想の能力（感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。） 3 創造的な技能（創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表している。） 4 鑑賞の能力（美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。）		